

平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月9日

上場会社名 株式会社ヨンドシーホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 8008 URL <http://www.yondoshi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長・CEO (氏名) 木村 祭氏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務担当 (氏名) 西村 政彦 (TEL) 03-5719-3429
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月12日 配当支払開始予定日 平成30年11月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	22,094	△1.5	1,994	△17.2	2,578	△15.4	1,817	△16.0
30年2月期第2四半期	22,427	△2.2	2,408	△10.9	3,046	△6.9	2,164	4.0

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 1,459百万円(△37.8%) 30年2月期第2四半期 2,346百万円(14.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	70.78	70.74
30年2月期第2四半期	84.86	84.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第2四半期	66,702	54,088	81.0	2,100.86
30年2月期	66,321	53,399	80.4	2,077.02

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 53,997百万円 30年2月期 53,299百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	32.50	—	32.50	65.00
31年2月期	—	37.50	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 第2四半期末の配当金(37円50銭)につきましては、平成30年10月29日の臨時計算書類承認後の配当決議をもって、正式に決定する予定です。

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	△0.1	5,300	△13.2	6,850	△9.4	5,000	△5.5	194.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

31年2月期2Q	29,331,356株	30年2月期	29,331,356株
31年2月期2Q	3,628,752株	30年2月期	3,669,847株
31年2月期2Q	25,679,174株	30年2月期2Q	25,511,393株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

自己株式数については、当四半期連結会計期間末に4℃ホールディングスグループ従業員持株会信託口 (以下「従
持信託」という。)が所有する当社株式79,800株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、平成30年10月9日 (火) に機関投資家、アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調となりましたが、通商問題の動向が世界経済に与える影響等もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

流通業界におきましては、個人消費に改善の兆しが見られるとともに、訪日外国人の消費も好調でしたが、将来不安からくる節約志向は依然として継続しており、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、第5次中期経営計画初年度となる2018年度におきまして、引き続き「100年企業」、「100年ブランド」の実現に向けて「人材の育成」、「商品力の強化」、「マーケット動向の把握」に取り組んでおります。そして、信頼性の高い企業グループの構築に向けCSR経営を実践し、内部統制機能の強化、株主への利益還元、利益成長に繋がる中長期的投資等を実行することによって企業価値の向上に取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高220億94百万円(前年同期比1.5%減)、営業利益19億94百万円(前年同期比17.2%減)、経常利益25億78百万円(前年同期比15.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益18億17百万円(前年同期比16.0%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(ジュエリー事業)

ジュエリー事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループにおきましては、ブライダルジュエリーの回復に時間を要していること等から売上高は前年同期を下回りました。

その結果、売上高は131億8百万円(前年同期比6.1%減)、営業利益は17億31百万円(前年同期比21.1%減)となりました。

(アパレル事業)

アパレル事業におきましては、アスティグループは、企画提案力と生産背景を活かした主力得意先との取り組み強化が奏功し、好調に推移いたしました。(株)アージュでは、主力のデイリーファッション事業「パレット」の出店拡大を進めるとともに販促施策の強化に取り組み、堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は89億85百万円(前年同期比6.1%増)、営業利益は3億51百万円(前年同期比26.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態につきましては、資産は主に、受取手形及び売掛金が3億63百万円、投資有価証券が6億15百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して3億81百万円増加し、667億2百万円となりました。負債は主に、支払手形及び買掛金が56百万円、長期借入金が57百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して3億7百万円減少し、126億14百万円となりました。純資産は前連結会計年度末と比較して6億89百万円増加し540億88百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して7億59百万円減少し、52億66百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、12億30百万円(前年同期は16億21百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益26億39百万円を計上したものの、法人税等の支払額7億10百万円等により相殺されたものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、10億20百万円(前年同期は6億59百万円の使用)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出25億10百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、9億67百万円(前年同期は7億43百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払による支出8億59百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績と今後の見通しを勘案した結果、平成30年4月9日に公表いたしました平成31年2月期の通期の業績予想の修正を行っております。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	49,000	6,150	7,650	5,350	208円44銭
今回修正予想 (B)	48,000	5,300	6,850	5,000	194円71銭
増減額 (B-A)	△1,000	△850	△800	△350	—
増減率 (%)	△2.0	△13.8	△10.5	△6.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成30年2月期)	48,060	6,102	7,562	5,293	207円09銭

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,076,174	2,316,831
受取手形及び売掛金	3,061,207	3,424,938
有価証券	3,950,000	2,950,000
商品及び製品	8,332,336	8,425,033
仕掛品	507,681	723,330
原材料及び貯蔵品	633,136	884,664
その他	988,864	965,986
貸倒引当金	△2,686	△4,621
流動資産合計	19,546,714	19,686,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,918,332	5,723,483
土地	5,492,215	5,492,215
その他(純額)	806,838	744,828
有形固定資産合計	12,217,387	11,960,527
無形固定資産		
のれん	4,220,291	3,972,039
その他	122,038	235,837
無形固定資産合計	4,342,329	4,207,876
投資その他の資産		
投資有価証券	25,768,779	26,383,879
退職給付に係る資産	656,629	678,307
その他	3,896,453	3,885,023
貸倒引当金	△107,030	△98,992
投資その他の資産合計	30,214,831	30,848,217
固定資産合計	46,774,548	47,016,622
資産合計	66,321,262	66,702,785

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,077,362	4,020,623
未払法人税等	856,205	860,366
賞与引当金	251,351	245,149
役員賞与引当金	13,300	29,035
資産除去債務	34,406	7,827
その他	2,806,317	2,728,267
流動負債合計	8,038,943	7,891,269
固定負債		
長期借入金	277,470	219,880
役員退職慰労引当金	416,528	—
役員株式給付引当金	—	13,894
退職給付に係る負債	568,010	548,441
資産除去債務	1,012,744	1,026,516
その他	2,608,056	2,914,096
固定負債合計	4,882,809	4,722,828
負債合計	12,921,753	12,614,098
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,486,520	2,486,520
資本剰余金	18,182,008	18,181,495
利益剰余金	37,503,586	38,461,750
自己株式	△6,310,953	△6,212,589
株主資本合計	51,861,161	52,917,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,425,917	1,031,926
繰延ヘッジ損益	△20,418	1,120
土地再評価差額金	△161,985	△161,985
為替換算調整勘定	78,638	64,253
退職給付に係る調整累計額	116,129	145,184
その他の包括利益累計額合計	1,438,281	1,080,498
新株予約権	100,066	91,011
純資産合計	53,399,509	54,088,686
負債純資産合計	66,321,262	66,702,785

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	22,427,504	22,094,575
売上原価	9,443,888	9,511,879
売上総利益	12,983,615	12,582,695
販売費及び一般管理費	10,575,082	10,587,907
営業利益	2,408,533	1,994,788
営業外収益		
受取利息	10,646	20,939
受取配当金	50,451	52,932
持分法による投資利益	517,540	423,731
投資不動産賃貸料	36,570	36,570
為替差益	7,468	14,737
その他	19,873	38,983
営業外収益合計	642,550	587,893
営業外費用		
支払利息	25	111
投資不動産減価償却費	2,342	2,339
投資不動産管理費用	1,023	993
その他	982	936
営業外費用合計	4,374	4,380
経常利益	3,046,710	2,578,301
特別利益		
投資有価証券売却益	—	193,067
特別利益合計	—	193,067
特別損失		
減損損失	17,629	123,065
店舗閉鎖損失	1,143	8,429
特別損失合計	18,772	131,494
税金等調整前四半期純利益	3,027,937	2,639,873
法人税、住民税及び事業税	687,690	845,533
法人税等調整額	175,393	△23,151
法人税等合計	863,084	822,382
四半期純利益	2,164,853	1,817,491
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,164,853	1,817,491

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	2,164,853	1,817,491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69,652	△357,232
繰延ヘッジ損益	△15,307	21,538
為替換算調整勘定	△5,638	△14,385
退職給付に係る調整額	24,031	19,933
持分法適用会社に対する持分相当額	109,215	△27,636
その他の包括利益合計	181,954	△357,782
四半期包括利益	2,346,807	1,459,708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,346,807	1,459,708
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,027,937	2,639,873
減価償却費	548,930	530,377
減損損失	17,629	123,065
のれん償却額	248,252	248,252
貸倒引当金の増減額(△は減少)	404	△6,103
賞与引当金の増減額(△は減少)	△59,377	△6,201
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	29,577	△11,369
その他の引当金の増減額(△は減少)	△16,690	△386,898
受取利息及び受取配当金	△61,098	△73,871
支払利息	25	111
持分法による投資損益(△は益)	△517,540	△423,731
為替差損益(△は益)	5,081	△9,261
売上債権の増減額(△は増加)	△467,697	△357,555
たな卸資産の増減額(△は増加)	△302,580	△563,074
仕入債務の増減額(△は減少)	167,387	△56,273
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△193,067
未払消費税等の増減額(△は減少)	△126,131	△39,576
前受金の増減額(△は減少)	△127,525	△141,921
未払金の増減額(△は減少)	14,506	117,359
その他の資産の増減額(△は増加)	△109,881	57,590
その他の負債の増減額(△は減少)	42,703	339,439
小計	2,313,914	1,787,164
利息及び配当金の受取額	120,928	153,645
利息の支払額	△25	△111
法人税等の支払額	△813,683	△710,371
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,621,133	1,230,326

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△579,450	△281,813
有形固定資産の売却による収入	1,451	388
無形固定資産の取得による支出	△6,282	△15,435
投資有価証券の取得による支出	△9,556	△2,510,277
投資有価証券の売却による収入	—	1,865,703
長期貸付けによる支出	△700	△915
長期貸付金の回収による収入	2,052	4,211
長期前払費用の取得による支出	△17,929	△7,390
その他の支出	△78,331	△114,552
その他の収入	29,584	39,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△659,161	△1,020,181
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△54,280	△57,590
自己株式の取得による支出	△170	△154
自己株式の売却による収入	96,362	33,804
配当金の支払額	△659,062	△859,327
その他の支出	△126,720	△84,132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△743,871	△967,399
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,012	△2,087
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	216,088	△759,342
現金及び現金同等物の期首残高	5,288,219	6,026,174
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,504,307	5,266,831

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、従業員に対する中長期的な企業価値向上へのインセンティブの付与を目的として「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」を導入し、従業員持株会に信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

(1) 取引の概要

当社は、「4℃ホールディングスグループ従業員持株会」(以下「本持株会」という。)に加入する従業員のうち一定の要件を充足する者を受益者とする信託を設定し、従持信託は5年間にわたり本持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を取得し、その後毎月一定日に本持株会へ売却を行うものであります。信託終了時に、株価の上昇により信託収益がある場合には、受益者たる従業員の抛割割合に応じて金銭が分配されます。株価の下落により譲渡損失が生じ信託財産に係る債務が残る場合には、金銭消費貸借契約の保証事項に基づき、当社が銀行に対して一括して弁済するため、従業員への追加負担はありません。

(2) 信託が保有する自社の株式に関する事項

従持信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末277,662千円、100,600株、当第2四半期連結会計期間末220,253千円、株式は79,800株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度末 277,470千円 当第2四半期連結会計期間末 219,880千円

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成30年5月17日開催の第68期定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打切り支給を決議いたしました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打切り支給額の未払分325,058千円を「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジュエリー事業	アパレル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,957,627	8,469,877	22,427,504	—	22,427,504
セグメント間の内部 売上高又は振替高	437	461,058	461,496	△461,496	—
計	13,958,065	8,930,935	22,889,001	△461,496	22,427,504
セグメント利益	2,193,387	277,995	2,471,382	△62,849	2,408,533

(注) 1 セグメント利益の調整額△62,849千円は、主に各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な減損損失はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジュエリー事業	アパレル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,108,891	8,985,684	22,094,575	—	22,094,575
セグメント間の内部 売上高又は振替高	657	458,066	458,724	△458,724	—
計	13,109,548	9,443,751	22,553,299	△458,724	22,094,575
セグメント利益	1,731,642	351,023	2,082,665	△87,877	1,994,788

(注) 1 セグメント利益の調整額△87,877千円には、のれん償却額△248,252千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△268,314千円、セグメント間取引消去額428,689千円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「ジュエリー事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、110,528千円であります。